

## 4月～6月の景況調査がまとまりました 全業種では11.9ポイント改善

このほど、30年第1四半期（4～6月）の舞鶴市内の中小企業景況調査がまとまりました。それによると、全業種では前期のDI（30年1～3月）のマイナス33.0に対し、マイナス21.1と11.9ポイント改善しました。29年4～6月期のマイナス41.6から緩やかに上昇していることから、この1年間の回復傾向は続いていると言えそうです。

業種別でみると、プラス7.1と大きく改善した建設業をはじめ、機械金属業や木材業、サービス業、小売業で改善。繊維工業は横ばいで、悪化したのは、水産加工業、卸売業という結果となりました。この1年間

の推移は別表のとおりです。

なお、今回の調査は124社中、100社の皆様にご回答いただき、回収率は80.6%でした。ご協力ありがとうございました。

平成29年4月からの業況DI

	実績				
	29年 4月～6月	29年 7月～9月	29年 10月～12月	30年 1月～3月	30年 4月～6月
全業種	-41.6	-39.1	-30.7	-33.0	-21.1
機械金属業	10.0	10.0	-9.1	-20.0	-7.1
建設業	-43.8	-50.0	-23.1	-29.4	7.1
繊維工業	-66.7	-66.7	-66.7	-33.3	-33.3
木材業	0.0	-50.0	-28.6	-57.1	-50.0
水産加工業	-50.0	-33.3	0.0	0.0	-33.3
サービス業	-45.5	-28.6	-22.7	-27.3	-13.0
小売業	-53.3	-56.3	-60.0	-64.3	-43.8
卸売業	-72.7	-55.6	-45.5	-23.1	-30.8

## 平成30年度 商店街通行量調査の結果

### 東・西地区ともに増加しました

去る6月3日に実施した「舞鶴市商店街通行量調査」の結果をお知らせします。

調査は、市内の商店街を中心に今年度も37地点で実施しました。「地区別の通行量」（表1）では通行量の総計は9,253人で昨年度と比べて463人の増加となっています。このうち西地区では57人、東地区では452人、南地区でも113人が増加しましたが、中地区では159人の減少となっています。

また、「通行量の多い地点ベスト5」（表2）では、西地区で最も多かったのが、さとう西側の701人でした。東・中・南地区では、昨年と同様に東駅周辺が多く、また三条通り付近の通行量も増加していま



6月3日に実施した通行量調査  
(大門商店街)

す。最高は東駅南口前の778人でした。

なお前年1位の「ファッションハウスオギノ前」は333人で西地区の6位でした。

地区別の通行量 (表1)

地区	通行人数(前年)	対前年比
西地区・18地点	4,585人(4,528人)	57人
東地区・13地点	3,142人(2,690人)	452人
中地区・4地点	488人(647人)	▲159人
南地区・2地点	1,038人(925人)	113人
合計・37地点	9,253人(8,790人)	463人

▲…マイナス

通行量の多い地点ベスト5 (表2)

#### 【西地区】

順位(前年)	調査地点	人数(前年)	商店街名等
1(2)	さとう西側	701人(490人)	新世界
2(4)	舞鶴堂前	479人(387人)	マナイ
3(3)	丸糸食堂前	408人(433人)	マナイ
4(6)	コスメティックサロンでだち前	349人(347人)	新世界
5(5)	装苑大阪屋前	344人(365人)	マナイ

#### 【東(東地区・中地区・南地区)】

順位(前年)	調査地点	人数(前年)	商店街名等
1(1)	東駅南口前	778人(592人)	南地区
2(2)	東駅北口前	633人(401人)	三条
3(5)	秋吉前	399人(310人)	三条
4(9)	京都北都信用金庫東舞鶴中央支店前	352人(192人)	三条
5(4)	三条八島南側	318人(322人)	三条

本調査の実施についてご協力いただきました商店街をはじめ、関係機関の皆様方に心からお礼を申し上げます。

なお、この調査結果をまとめた報告書は、市内の商業の活性化を図る基礎資料として活用します。

○問い合わせ 舞鶴商工会議所 (Tel 62-4600)